

# 研修 だより

糸島市立一貴山小学校  
平成27年10月15日(木)  
学力アップ部

3年1組の子どもたち、秋吉先生・野口先生ありがとうございました！！

【単元名】好きなスポーツは何ですか。

【本時の目標】

英語を聞いたり、話したりするゲームを通して好きなスポーツの言い表し方に親しむ

【本時の主張】

ビンゴをしたり、インタビューゲームをしたりすることで言い表し方に親しむ

【本時の展開】

1 あいさつ・フォニックスを行う。

○発音に気を付けて、正しく発音できるように支援する。

2 スポーツの言葉を知り、めあてを確認する。

○絵カードを交えながらデモンストレーションを行う。

めあて

いろんなスポーツの言い方を英語でいう名前をなれよう。



3 スポーツビンゴを行う。

○スポーツの言い方に慣れ親しんでいるかをたしかめるシートの中に絵があったら「Yes, I do」と言って印をつける。なければ「No, I don't」と言って次の答えを待つ。2本以上できたらビンゴ。



4 インタビューゲームをする。

- ① インタビューカードを持って、仲間のところに行く。
- ② じゃんけんして先に聞く方を決める。
- ③ Do you like ~? と聞く。
- ④ 相手が Yes, I do. と答えたらカードにローマ字で名前を書いてもらう。
- ⑤ 握手して次の人と替わる。



5 本時学習を振り返る。

たくさんの友だちや先生と英語で話せたから良かったです。

## (秋吉先生の自評)

### 目標について

- ・言い方に親しませるために、声を出させたり、間違ったときの対処法（こけ方）を教えたりした。
- ・ゲームをしながら話したり、聞いたりすることが豊富で満足していたと思う。
- ・もう少し、時間を確保し、慣れ親しませたかった。



### 【協議会で話し合ったこと】

#### 【協議会より】

- 中学年の外国語活動は目標は現段階では明確になってないが、何をどこまでもとめるか共有することを大切にしたい。本時で言えば、Do you like～が言える等。
- 外国語⇄エンカウンターのようにしたい。本時ならジェスチャーゲームやコーナーゲームを通して、友だちの良さに気づかせること。
- ゲームをしながら外国語に親しみ、「楽しい」の質をあげる。
- フォニックスは英語と日本語の違いがはっきりと分かる。
- 国の動向をキャッチしながら、話すこと、聞くことを活動に多く取り入れた方がいい。
- 教員の指導力の向上が重要である。苦手意識をもたないようにしたい。
- 秋吉先生のように、担任が外国語に親しむモデルとしてセンターポジションに位置し、積極的に英語を話していく姿が良かった。



## 大田亜紀指導主事の御指導・御助言

- 話す・聞くはある程度の定着が必要である。読む・書くことはあまり求めない。
  - 楽しみながら繰り返し、話したり聞いたりすることが大切である。（やりながら教える）
  - 読めない単語にカタカナを書くことは悪くない。しかし、子どもが聞こえたままのものを書かせること。
  - コミュニケーションスキルを高めることが大切である。
  - 伝わりにくいときはジェスチャーをもっと使わせてもよかった。
  - 10人と交流することはすごいが、交流の質を大切にしたい。
- ☆2020年に外国語の在り方が変わる。高学年は2時間（モジュール） 中学年1時間

秋吉先生・野口先生お疲れ様でした☆

授業の最初にギターを弾きながら子どもを惹きつけテンポよく授業されました。野口先生は、中学年の外国語活動18時間すべてに支援してくださっています。デジタル教材、ゲーム、フォニックス等を準備してくださっています。秋吉先生が協議会の冒頭で「失敗してOK、失敗したときの対処法を教えている」ということが改めて大切であると感じさせられました。子どもたちは、もし伝わらなければ〇〇すればよい」と秘密のアイテムのように思い、積極的にコミュニケーションを図ろうとするからです。また、チャンツやゲームで親しみながら聞いたり、話したりすることの繰り返しで中学校の英語にもつながると考えます。今年度から中学年にも外国語の授業が取り入れられ、とてもタイムリーな研修となりました。今後も、外国語について絶えず、研究と修養に努めていきたいと思うこの頃です。